

「異字同訓」の漢字の使い分け〈ハ～ワ行〉（素案）

はえ・はえる

【映え・映える】光を受けて照り輝く。引き立って見える。
夕映え。紅葉が夕日に映える。紺のスーツに赤のネクタイが映える。

【栄え・栄える】立派に感じられる。目立つ。
栄えある勝利。見事な出来栄え。見栄えがする。栄えない役回り。

はかる

【図る】企てる。うまく処理する。
合理化を図る。解決を図る。身の安全を図る。再起を図る。局面の打開を図る。
便宜を図る。

【計る】数える。考える。
時間を計る。計り知れない恩恵。国の将来を計る。タイミングを計る。

【測る】長さ・高さ・深さ・広さ・程度を調べる。推測する。
距離を測る。標高を測る。身長を測る*。水深を測る。面積を測る。血圧を測る。
温度を測る。運動能力を測る。測定器で測る。真意を測りかねる。

【量る】重さ・容積を調べる。推量する。
重さを量る。体重を量る*。立体の体積を量る。容量を量る。心中を押し量る。

【謀る】良くない事をたくらむ。
暗殺を謀る。悪事を謀る。会社の乗っ取りを謀る。競争相手の失脚を謀る。

【諮る】ある問題について意見を聞く。
審議会に諮る。議案を委員会に諮る。役員会に諮って決める。

* 「身長と体重をはかる」という場合の「はかる」は、「測定する」と言い換えられることから、「量る」よりも「測る」を用いる方が一般的である

はじまる・はじめ・はじめて・はじめ

【初め・初めて】ある期間の早い段階。最初。先の方のもの。
初めはこう思った。秋の初め。年の初め。初めて聞いた話。初めてお目に掛かる。
初めての経験。初めからやり直す。初めの曲の方がいい。

【始まる・始め*・始める】開始する。始めたばかりの段階。物事の起こり。
懇親会が始まる。仕事を始める。書き始める。手始め。仕事始め。始めと終わり。
国の始め。人類の始め。

* 「校長をはじめ、教職員一同…」などという場合の「はじめ」については、漢字を当てるのであれば、その意味から考えて「初」よりも「始」がふさわしいと考えられるが、仮名で書かれることも多い。

はな

【花】植物の花（特に桜の花）。花のように人目を引くもの。
花が咲く。花を生ける。花も実もない。花道を飾る。社交界の花。花の都。花形。

【華】きらびやかで美しい様子。本質を成す最も重要な部分。
華やかに着飾る。華やかに笑う。華々しい生涯。国風文化の華。武士道の華。

はなす・はなれる

【離す・離れる】距離や間隔が広がる。離脱する。
間を離す。ハンドルから手を離す。切り離す。駅から遠く離れた町。離れ離れになる。
離れ島。戦列を離れる。職を離れる。

【放す・放れる】拘束や固定を外す。放棄する。
鳥を放す。手放しで自転車には乗らない。野放しにする。放し飼い。放れ馬。
手放しで褒める。矢が弦を放れる。見放す。

はやい・はやまる・はやめる

【早い・早まる・早める】時期や時刻が前である。時間が短い。予定よりも前になる。
時期が早い。早く起きる。気が早い。早変わり。早口。矢継ぎ早。早まった行動。
順番が早まる。出発時間が早まる。開会の時刻を早める。

【速い・速まる・速める】スピードがある。速度が上がる。
流れが速い。投手の球が速い。テンポが速い。車の速さ。改革のスピードが速まる。
脈拍が速まる。足を速める。

はる

【張る】広がる。引き締まる。取り付ける。押し通す。
氷が張る。根が張る。策略を張り巡らす。気が張る。張りのある声。テントを張る。
テニスのネットを張る。板張りの床。論陣を張る。強情を張る。片意地を張る。

【貼る】のりなどで表面に付ける。
ポスターを貼る。切手を貼り付ける。貼り紙。貼り薬。壁にタイルを貼（張）る*。

* 「タイルをはる」の「はる」については、「タイルをのりなどで表面に貼り付ける」意味では「貼る」を使うが、「タイルを取り付ける」意味では「張」を使う。

ひく

【引く】近くに寄せる。線を描く。参照する。やめる。注意や関心などを向けさせる。
綱を引く。水道を引く。田に水を引く。引き金を引く。風邪を引く。線を引く。
設計図を引く。辞書を引く。例を引く。身を引く。人目を引く。同情を引く。

【弾く】弦楽器や鍵盤楽器を奏でる。
ピアノを弾く。バイオリンを弾く。ショパンの曲を弾く。ギターのエリック・クラプトンの弾き語り。弾き手。

ふえる・ふやす

【増える・増やす】(⇔減る・減らす)。数や量が多くなる。
人数が増える。水かさが増える。出費が増える。資本金を増やす。仲間を増やす。

【殖える*・殖やす*】財産や動植物が多くなる。
財産が殖える。資産を殖やす。家畜が殖える。ネズミが殖える。株分けで殖やす。

* 「利殖・繁殖」という漢語との関係を意識して「殖える・殖やす」と「殖」を当てるが、現在の表記実態としては、「増える・増やす」と「増」を用いて表記するのが一般的である。

ふく

【吹く】空気が流れ動く。息を出す。表面に現れる。
そよ風が吹く。口笛を吹く。鯨が潮を吹(噴)く*。干し柿が粉を吹く。吹き出物。
不満が吹(噴)き出す*。汗が吹(噴)き出る*。

【噴く】気体や液体などが内部から外部へ勢いよく出る。
火山が煙を噴く。エンジンが火を噴く。火を噴き出す。温泉が噴き出る。

* 「鯨が潮をふく」は、鯨が呼気とともに海水を体外に出すところに視点を置いた場合は「吹」を、体内から体外に勢いよく出るところに視点を置いた場合は「噴」を当てる。
また、「不満」や「汗」が「表面に現れる」とき、その現れ方の激しさに視点を置いた場合は「噴」を当てる。

ふける

【更ける】深まる。
しんしんと夜が更ける。秋が更ける。夜更かしする。

【老ける】年を取る。
老けて見える。老け込む。この一、二年で急に老けた。

ふね

【船】比較的大型のもので、一般語として用いる。
船の甲板。船で帰国する。船旅。親船。船乗り。船賃。船荷。船会社。釣り船(舟)*。
渡し船(舟)*。

【舟】主に小型で簡単な作りのもの。
舟をこぐ。小舟。ささ舟。助け舟(船)を出す。

* 「釣り船」「渡し船」は、動力を使わない小型の「ふね」の場合は、「釣り舟」「渡し舟」と表記することが多い。また、「助けふね」は救助船の意味で使う場合は「助け船」、比喩的に助けとなるものという意味で使う場合は、「助け舟」と表記することが多い。

ふるう

【振るう】盛んになる。勢いよく動かす。
士気が振るう。事業が振るわない。熱弁を振るう。権力を振るう。

【震う】小刻みに揺れ動く。

声を震わせる。決戦を前に武者震いする。思わず身震いする。

【奮う】気力があふれる。

勇気を奮って立ち向かう。奮って御参加ください。奮い立つ。

ほか

【外】ある範囲を超えたところ。

思いの外うまく事が運んだ。想像の外の事件が起こる。もっての外。

【他】それ以外のもの。

この他に用意するものはあるか。他の人にも尋ねる。

まざる・まじる・まぜる

【交ざる・交じる・交ぜる】元の素材が判別できる形で一緒になる。

麻が交ざっている。漢字仮名交じり文。交ぜ織り。カードを交ぜる。米に麦を交ぜる。子供たちに交ざって遊ぶ。白髪交じり。

【混ざる・混じる・混ぜる】元の素材が判別できない形で一緒になる。

酒に水が混ざる。異物が混じる。雑音が混じる。コーヒーにミルクを混ぜる。セメントに砂を混ぜる。絵の具を混ぜる。

まち

【町】行政区画の一つ。人家が多く集まった地域。

町と村。町役場。町ぐるみの歓迎。下町。町へ買物に行く。町外れ。

【街】商店が並んだにぎやかな通り・地域。

街を吹く風。学生の街。街の明かりが恋しい。街の声。街角に立つ。

まるい

【丸い】球形である。角がない。

丸いボール。地球は丸い。背中が丸くなる。角を丸く削る。丸く収める。

【円い】円の形である。円満である。

円（丸）い窓*。円（丸）いテーブル*。円（丸）く輪になる。円い人柄。

* 窓やテーブルの形状が円形である場合に「円い」と「円」を用いるが、現在の漢字使用においては、球形のものだけでなく、円形のものに対しても、一般に「丸」が用いられる。

まわり

【回り】回転。身边。円筒形の周囲。

モーターの回りが悪い。回り舞台。時計回り。身の回り。胴回り。首回り。

【周り】周囲。周辺。

池の周り。周りの人。周りの目が気になる。学校の周りには自然が残っている。

みる

【見る】眺める。調べる。世話する。

遠くの景色を見る。エンジンの調子を見る。顔色を見る。面倒を見る。親を見る。

【診る】診察する。

患者を診る。脈を診る。胃カメラで診る。医者に診てもらおう。

もと

【下】影響力や支配力の及ぶ範囲。～という状態・状況で。物の下の辺り。

法の下に平等。ある条件の下で成立する。一撃の下に倒した。花の下で遊ぶ。
真実を白日の下にさらす。灯台下暗し。足下（元）が悪い。

【元】物事が生じる始まり。以前。近くの場所。もとで。

口は災いの元。過労が元で入院する。火の元。家元。出版元。元の住所。元首相。
親元に帰る。手元に置く。お膝元。元が掛かる。

【本】（⇔末）。物事の根幹となる部分。

生活の本を正す。本を絶つ必要がある。本を尋ねる。

【基】基礎・土台・根拠。

資料を基にする。詳細なデータを基に判断する。これまでの経験に基づく。

や

【屋】建物*。職業。屋号。ある性質を持つ人。

長屋に住む。小屋。屋敷。酒屋。八百屋。三河屋。音羽屋。頑張り屋。照れ屋。

【家】人が生活する住まい。

貸家を探す。狭いながらも楽しい我が家。家主。家賃。空き家。一軒家。

* 「屋」も「家」もどちらも「建物」という意味では共通するが、「屋」は、主として、外側から捉えた建物全体に視点を置いて用い、「家」は、主として、建物を内側から捉えたときの生活空間に視点を置いて用いる。

やさしい

【易しい】（⇔難しい）。たやすい。分かりやすい。

易しい問題が多い。誰にでもできる易しい仕事。易しく説明する。易しい英語。

【優しい】思いやりがある。穏やかである。上品で美しい。

優しい言葉を掛ける。誰にも優しく接する。気立ての優しい少年。物腰が優しい。

やぶる・やぶれ

【破る・破れる】引き裂くなどして壊す。背く。損なう。

手紙を破る。障子が破れる。誓いを破る。約束を破る。平和が破れる。静寂が破れる。

【敗れる】負ける。

競技に敗れる。勝負に敗れる。人生に敗れる。選挙に敗れる。敗れ去る。

やわらかい・やわらかだ

【柔らかい・柔らかだ】ふんわりしている。しなやかである。穏やかである。
柔らかい毛布。身のこなしが柔らかだ。柔らかな物腰の人物。物柔らかな態度。

【軟らかい・軟らかだ】(⇔硬い)。手応えや歯応えがない。緊張や硬さがない。
軟らかい肉。軟らかな土。軟らかく煮た大根。表情が軟らかい。軟らかい話。

よ

【世】その時の世の中。前世・現世・来世のそれぞれ。
明治の世*。世の中が騒然とする。世が世ならば。世渡り。この世とあの世。

【代】ある人や同じ系統の人が国を治めている期間。
明治の代*。260年続いた徳川の代。武家の代。

*「明治のよ」については、「明治時代の世の中」という意味では「明治の世」,「明治天皇の治世下にある」という意味では「明治の代」と使い分ける。

よい

【良い】優れている。好ましい。
品質が良い。成績が良い。手際が良い。発音が良い。今のは良い質問だ。感じが良い。良い話がある。仲間受けが良い。良い習慣を身に付ける。

【善い】道徳的に望ましい。
善い行い。世の中のために善いことをする。人に親切にするのは善いことである。

よむ

【読む】声に出して言う。内容を理解する。推測する。
大きな声で読む。お経を読む。秒読み。本を読む。人の心を読む。手の内を読む。読みが浅い。読みが外れる。

【詠む】詩歌を作る。
和歌や俳句を詠む。一首詠む。歌に詠まれた名所。題に合わせて詠む。

わかれる

【分かれる】一つのものが別々の幾つかになる。違いが生じる。
道が二つに分かれる。敵と味方に分かれる。人生の分かれ道。勝敗の分かれ目。意見が分かれる。評価が分かれる。

【別れる】一緒にいた身内や友人などと離れる。
幼い時に両親と別れる。家族と別れて住む。けんか別れになる。物別れに終わる。

わく

【沸く】水が熱くなったり沸騰したりする。興奮・熱狂する。
風呂が沸く。湯が沸く。すばらしい演技に場内が沸く。観客が沸きに沸いた。

【湧く】地中から噴き出る。生じる。

温泉が湧く。石油が湧き出る。勇気が湧く。アイデアが湧く。盛大な拍手が湧く。

わざ

【技】技術・技芸。格闘技などで一定の型に従った動作。

技を磨く。技を競う。技に切れがある。柔道の技。技を掛ける。投げ技が決まる。

【業】行いや振る舞い。仕事。

人間業とも思えない。神業。至難の業。軽業。業師。物書きを業とする。

わずらう・わずらわす

【煩う・煩わす】思い悩む。面倒で手間が掛かる。

思い煩う。心を煩わす。人手を煩わす。雑事に煩わされる。

【患う】病気になる。

胸を患う。三年ほど患う。大病を患う。長患いをする。